

めざしたのは、クルマの本質的価値。

誤解を恐れずに言えば、ハイブリッド車であることも、セダンであることも、開発チームにとっては副次的なことだったかもしれません。誕生からおよそ20年、ハイブリッド車は自動車先進国のほとんどで当たり前のように走るようになり、プラグインハイブリッド車や電気自動車など、環境車の在り方も多様化しようとしています。そうしたなかでインサイトの進むべき道を考えたとき、やはり、新しい提案に満ちたクルマにしたいと思いました。

その名のとおりインサイト^{※1}は、時代を洞察し、ためらうことなく大胆な提案を行ってきたクルマです。ハイブリッド車が当たり前となった時代に「環境車だから」という言い訳は一切許されません。デザインも走りも使い勝手も、ガソリンエンジン車と比べてなにひとつ劣ることがない、それどころか、どんなパワートレインのクルマと比較しても、純粋に「いいクルマ」と感じていただける一台をめざして開発を進めてきました。

開発を牽引したのは「PRIME^{※2}」というキーワードでした。コンセプトメイキングでは、「シンプル」、「クリーン」、「艶」、「タイムレス」といった言葉が飛び交いましたが、議論を深めるなかで、わたしたちが提供すべきインサイトは「シンプルでありながら上質で、時代に流されない本質的な魅力を持つクルマ」であることが明確になります。そして、めざす姿を「PRIME」のひと言に凝縮しました。

「SPORT HYBRID i-MMD」を搭載する新型インサイトは、確かに優れた燃費性能を実現しています。しかしそれは、このクルマの魅力のひとつに過ぎません。外観からにじみでる品格、座った瞬間に感じる上質、そして、走り出して知る最上の快適。すべてに「PRIME」を感じていただけると思います。



堀川 克己 (ほりかわ かつみ)

(株)本田技術研究所 四輪R&Dセンター
主任研究員

1985年、(株)本田技術研究所入社。乗用芝刈り機の開発を経て、1990年、四輪車動力性能開発に異動。主にアコードシリーズのプラットフォーム開発に従事したのち、2003年発売の欧州アコードディーゼルでALPLに就任。2008年発売のアコードツアラー、中国仕向けスピリア、北米仕向けアキュラTSXなどのLPLを歴任し、今回、新型インサイトのLPLを務める。

※1 INSGHTは、英語で「洞察力」「眼識」という意味。ハイブリッドカーの本格的な普及を洞察するクルマという意味を込め名付けられた。

※2 Prime(プライム):[形容詞] 最も重要な、主要な、最高位の、最良の、最適な